

働く人の健康を考える

ワーク&ヘルス

広島市南区金屋町8-20 TEL 082-264-4110

郵便振替口座 01310-9-42400

目次

◆ 元呉海上自衛隊員

アスベスト肺がんで公務災害認定される！

◆ 第4回日本新経路医学会総会に参加して

◆ 石綿労災認定1008人 13年度

◆ 「心の病」労災請求、最多1409人

認定、2年連続で400人超え 厚労省

◆ 熱中症の予防について

友和クリニック

宇土博

◆ 編集後記 就任あいさつ

事務局次長 頼 秀文

2014年 8月10日

第231号

広島労働安全衛生センタ基

元呉海上自衛隊員

アスベスト肺がんで公務災害認定される！

元呉海上自衛隊員のYさんが7月28日、アスベストによる肺がんで公務災害認定を受けることになった。

Yさんは、昭和30年7月18日に海上自衛隊に入隊し艦船に乗船された。以降、約14年間勤務、平成元年9月29日に定年退職（53才）された。

Yさんは、艦艇勤務中に機関科員としてアスベストを扱い配管、破損部品等の応急修理に従事し、その際にアスベストに曝露する作業環境下におかれていた。

次にYさんの病歴は、平成11年6月13日に呉医療センターで肺の検査を受けた際に異常を指摘され、同年7月に呉医師会病院で左上葉の2cm大の腫瘍を認め、「原発性肺がん」と診断を受けた。同年8月12日から、広島市民病院で「肺小細胞がん」の診断で放射線化学療法受け軽快したが、平成12年5月16日から同年6月2日まで治療に伴う放射線肺臓炎のため、再び広島市民病院で入院加療された。

平成17年3月14日より「急性心筋梗塞」のため、呉医療センターで入院加療（ステント術等）を受けた。又、同年10月には「左胸水貯留」を認め、再び呉医療センターで入院加療された。

平成18年1月19日、冠動脈バイパス術を受け、同年3月に左胸水の貯留で入院加療を受けている。

呉総監部「公務災害請求」を5年間も放置

Yさんはこうした病歴後に、平成18年5月30日に「公務災害請求」を呉海上自衛隊総監部に行った。呉総監部の対応は、Yさんに何の連絡のないまま平成23年まで（約5年間）放置されていたという。やきもきしていたYさんは、センターが主催する「労災・アスベスト110番」を開設していた日に電話をかけてこられ、Yさんの事情を知ることとなった。

その後、広島の平田弁護士とも連携を取りながら公務災害認定に向けて取り組みを行ってきた。

昨年12月16日に「公務災害請求」に対する医師の「意見書」として回答があった。

「意見書」は防衛医科大学、自衛隊中央病院等の医官による見解は「本件は海上自衛隊勤務における石綿ばく露により生じた良性石綿胸水とは判断できないものの、石綿ばく露により生じた肺癌と診断する」と意見書は述べている。

一方、この件で全国センターを通じて防衛省に対して「早急に認定をするように」と申し入れを行ってきた。それに対して「Yさんの件は8月中に通知する」との回答があった。他方、決定通知書の「石綿胸水」についてはYさんの体調もあり現在、相談中です。

第4回日本新経絡医学会総会に参加して

2011年7月3日に、日本新経絡医学会を創立して以来、今年で3年が経過し、今年6月29日に第4回定期総会が広大医学部広仁会館で開催されました。

新経絡学会は難治性疼痛、難治性疾患、学習障害治療の学術研究を行う学会です。当日は、10時より開催され、午前中は各地から「新経絡治療」の取り組み報告が演題として9つされました。

わたし自身は、この総会には初めて参加した中での感想だが、難治性疼痛や難治性疾患と呼ばれる疾病は、西洋医学では手術が優先される。しかし、「新経絡治療」は血流を良くすることで疼痛が消える事が症例として報告されている。その症例演題が「脊柱管狭窄症への治療効果」や「集中的な新経絡治療と全身運動実施にて改善し職場復帰した頸肩腕障害・腰痛の一事例」などの報告でした。

中でも注目を引いたのは、鍼灸医師としては若いにもかかわらず、「学習障害・発達障害」の子供が「新経絡治療」によって短期間で驚くべき改善効果が見られたことが報告された。報告集には次のように述べられている。「西洋医学では学習障害に対する有効な治療法はなく、周りが時間をかけ辛抱強く教え、学ぶことで改善されると言われているが、脳に器質的損傷がある場合には、それさえも困難であり、改善される前に本人とその周りが疲れ果ててしまうのが現状である。本人のやる気と家族のサポートが必要であることはもちろんだが、新経絡治療を組み合わせることで学習障害・発達障害の改善がより早く円滑に行われることを確信できた症例であった」と報告されている。

市民講座「学習障害・発達障害の予防と新経絡治療」とは

午後からの市民講座の記念講演として宇土先生より「学習障害・発達障害の予防と新経絡治療」副題として高機能自閉症・アスペルガー症候群を中心にと題して講演がされた。

この講演で強調されたことは、発達障害の原因として考えられることは、妊娠・周産期の微細な損傷が大きな要因であること。また、喫煙や添加物、脳機能の障害を引き起こす有害物質も脳の損傷に影響が考えられる。出産後の障害は転倒による頭部外傷、窒息などの酸欠などが指摘された。

これらの脳の損傷部位によって認知機能、運動機能、言語機能、コミュニケーション機能などの障害が特徴として現れる。こうした機能障害を「新経絡治療」は、脳の経絡のつまりを改善し、脳のエネルギーの流れを改善して脳神経や結合回路の機能を修復・調整することにより症状を改善させると主張している。

講演の後、成人されアスペルガー症候群治療効果のあった二人の親御さんより現状報告がされた。治療前は社会環境になじめない男女であったが、現在は二人とも友達も出来、一人は専門学校に通い、もう一人はスーパーの職場で働いていると報告があり、親御さんが望んでいた「普通の子供」として立派に育っていることが報告された。

石綿労災認定1008人 13年度

仕事中にアスベスト（石綿）を吸い込み中皮腫や肺がんなどになり、2013年度に労災認定された患者は、前年度と同じ1008人だったことが1日、厚生労働省（速報値）で分かった。申請者は前年度より59人減の1113人だった。

厚労省は「石綿は1970～90年ごろにかけて盛んに使われた。発症までの潜伏期間が長いので、これからも申請や認定は同水準で推移するとみられる」としている。

労災認定者は亡くなった人も含まれており、疾病別では中皮腫が528人、肺がんが383人、良性石綿胸水44人、びまん性胸膜肥厚53人。これとは別に、じん肺の一種で石綿が原因の「石綿肺」が77人だった。

石綿による被害全てを合わせた都道府県別によると、東京の115人が最も多く、大阪86人、神奈川85人、兵庫75人など。中国5県では広島56人、山口19人、岡山47人、島根、鳥取各4人。建設業と製造業が大半だった。

06年施行の石綿救済法により、5年時効後も亡くなった患者の家族に支給する特別遺族給付金は、受け取った人が前年度の167人と比べ約9割減の23人。申請数も大幅に減り40人だった。

厚労省は11～12年度、中皮腫で亡くなった患者の全国調査を実施。遺族に支給制度の案内を送った結果、この2年間に申請が集中し、13年度は減少したとみられたと分析している。

この件で広島労働局に問い合わせたところ、中国5県の県別の回答が寄せられました。

	広島	岡山	山口	島根	鳥取
請求件数	65件	55件	19件	不明	3件
決定件数	56件	47件	19件	4件	4件
肺がん	19件	29件	6件	3件	1件
中皮腫	31件	13件	11件	0件	3件
良性石綿胸水	3件	3件	0件	0件	0件
びまん性胸膜肥厚	3件	2件	2件	1件	0件

注 年度を跨いでいる事案があるため請求と決定件数が一致しません。

16年 7月2日 (水曜日) 中 国 5 県 別

石綿労災認定1008人 13年度

仕事中にアスベスト（石綿）を吸い込み中皮腫や肺がんなどになり、2013年度に労災認定された患者は、前年度と同じ1008人だったことが1日、厚生労働省の集計（速報値）で分かった。申請者は前年度より59人減の1113人だった。

厚労省は「石綿は1970～90年ごろにかけて盛んに使われた。発症までの潜伏期間が長いので、これからも申請や認定は同水準で推移するとみられる」としている。

労災認定者は亡くなった人も含まれており、疾病別では中皮腫が528人、肺がん383人、良性石綿胸水44人、びまん性胸膜肥厚53人。これとは別に、じん肺の一種で石綿が原因の「石綿肺」が77人だった。

石綿による被害全てを合わせた都道府県別によると、東京の115人が最も多く、大阪86人、神奈川85人、兵庫75人など。中国5県では広島56人、山口19人、岡山47人、島根、鳥取各4人。建設業と製造業が大半だった。

06年施行の石綿救済法により、5年時効後も亡くなった患者の家族に支給する特別遺族給付金は、受け取った人が前年度の167人と比べ約9割減の23人。申請数も大幅に減り40人だった。

厚労省は11～12年度、中皮腫で亡くなった患者の全国調査を実施。遺族に支給制度の案内を送った結果、この2年間に申請が集中し、13年度は減少したとみられたと分析している。

国調査を実施。遺族に支給制度の案内を送った結果、この2年間に申請が集中し、13年度は減少したとみられる。

「心の病」労災請求、最多1409人

認定、2年連続で400人超え 厚労省

朝日新聞の6月 日付けの朝刊に次のような記事が掲載されていた。

うつ病など「心の病」で2013年度に労災請求した人が1400人を超え、過去最多を更新したことが厚生労働省のまとめでわかった。認定者も436人おり、前年度に次ぎ過去2番目の多さ。職場のストレスやパワハラで発病した場合にも労災が認められると、広く知られるようになったことが背景にある。

厚労省が6月27日、労災の請求・認定件数を発表した。「心の病」である精神障害での請求は1409人。前年度より152人増え、記録をさかのぼれる1983年度以降で最多だった。

認定者は前年度より39人減ったが、400人越えは2年連続。うち自殺と自殺未遂が63人いた。原因別では「仕事の内容や量の変化」「嫌がらせやいじめ。暴行」（ともに55人）のほか、「悲惨な事故や災害を体験、目撃」（49人）が目立つ。認定は幅広い職種であり、年代別では30代が全体の4割近くを占めた。

一方、くも膜下出血や心筋梗塞など「脳・心臓疾患」で労災認定された人も306人いた。前年度より32人少ないものの、300人越えは3年連続。うち死亡者は133人で前年度10人多かった。認定者の3分の2が40～50代。また、8割超は「過労死の危険ライン」とされる月80時間以上の残業をしていた。職業別ではトラック運転手などの「自動車運転従事者」が93人で最多だった。

精神障害労災請求について広島労働局に詳細を求めたところ、中国5県の県別の回答が寄せられました。

精神障害の県別請求、決定及び支給決定件数

	広島	岡山	山口	島根	鳥取
請求件数	50件	22件	9件	4件	4件
うち自殺	7件	2件	1件	1件	0件
決定件数	39件	16件	13件	1件	4件
うち自殺	6件	2件	3件	1件	0件
支給決定件数	16件	3件	5件	0件	3件
うち自殺	5件	0件	1件	0件	0件
未決定	11件	6件		3件	0件

注 未決定とは年度を跨いだため調査中を示すものです。

熱中症の予防について

友和クリニック

宇土博

暑い夏がやってきて、熱中症を起しやすい季節になりました。熱中症の原因と予防対策について述べます。生活の中に生かして、熱中症を予防して下さい。

1) 温熱条件

温熱条件を決める4要素には「気温」「湿度」「気流」「輻射熱」があります。この要素に生体の産生する熱＝代謝熱が加わって、人体の温熱条件が決まってきます。

A. 生体影響

人体が最も効率的に機能するのは、体温が36℃前後の条件です。これをはずれると直ちに生体内での化学反応、すなわち代謝活動に異常を来たすようになります。そのため、人体は体温を一定に保つ機能を備えています。

体温が上昇すると、皮膚の血管が拡張し皮膚の血流量が増加し皮膚温度をたかめ放熱や発汗による蒸発熱により体温を下げる働きをします。このような体温調節機能をこえて高い温熱条件が作用した場合、生体影響として「熱中症」が起こります。

a. 熱中症

暑熱により体温調節機能が破綻すると、体温調節のために消費された物質や体質により次の4つの病型を生じる。

・**うつ熱症（日射病、熱射病）**：炎天下のマラソンのように発汗に必要な水分が欠乏した場合に生じる。発汗が停止し、皮膚が乾燥し、体温が40℃を越え意識を失う。致死率が高く、救急医療の対象となります。このように熱中症は、重篤な病気であり、注意が必要です。

・**熱痙攣**：暑熱作業で、塩分の補給をせずに水分のみを摂取した場合に生じる。塩分の欠乏のために、四肢の痙攣を来たします。意識消失はない。体温は上昇しない。0.2%の薄い塩水の摂取により速に改善します。炎天下では、必ず、水分だけでなく塩分も補給してやるのが大切です。

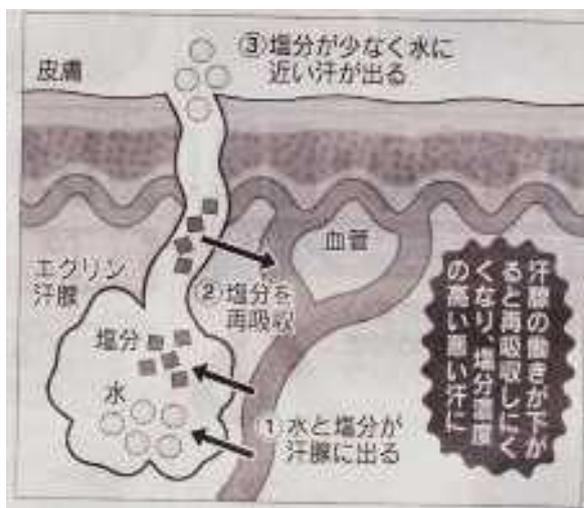
・**熱虚脱**：循環機能の不良な者が暑熱作業をした場合に生じる。脳貧血によるショックです。保温し、循環状態を改善する措置をとります。

・**熱疲労**：一種の夏ばての状態です。暑熱作業に慣れていない者が夏期に急に作業すると、水分の取り過ぎにより胃腸をこわしたり、ビタミンB₁、Cの欠乏により慢性の疲労状態におちいります。これを防ぐには、水分と栄養を別々に摂らず、具たくさんの味噌汁な



どで水分と栄養を一緒にとることが胃腸を壊さない知恵です。

また、トマトなどの水分、ビタミンの多い野菜を塩をつけて食べるのも夏バテに有効で



す。トマトには、ビタミンA、C、E、B群など栄養が豊富です。

b. 夏バテの予防—発汗能力を鍛える

■ 発汗の仕組みは以下のように行われます。① 皮膚や体内温度があがると、脳の体温調節中枢から発汗の指令がでる。② 皮膚の表面にある汗腺「エクリン腺」に指令が伝わる。③ 血管から塩分と水分が汗腺の中に移動する。これが皮膚から分泌され汗となります。

皮膚の毛細血管から、水と塩分が汗腺に

しみだして汗ももとを作ります。① 汗の成分は、血液と似ており、体に必要な塩分を多く含みます。② しかし、健康な汗腺は大切な塩分を再吸収し、体内に戻す機能を持ちます。③ その結果、体から出る汗の成分は99%が水で、サラサラして臭いも少なくなります。

しかし、汗腺の働きが下がると塩分の再吸収が低下し、塩分濃度の高い悪い汗がでます
図1. 発汗の仕組み

■ 冷房による汗腺機能の低下

しかし、冷房がきいた環境でくらししていると、汗腺の機能が衰え、塩分を再吸収しにくくなります。(大阪国際大学 井上芳光)そして、濃い塩分を含むべとべとした「悪い汗」が出やすくなります。汗で塩分が失われると、体力が落ち、夏バテしやすくなります。また、汗をかく量も減るため、体温調節が困難になりめまいや吐き気、意識障害などを招く熱中症にかかりやすくなります。

■ 汗腺機能の回復方法

運動などで汗をかく機会を増やせば汗腺機能が回復します。塩分の少ない「よい汗」をかけるようになります。そのため、体力に問題が無い人は、ジョギングなどの少し息が切れるくらいの運動をするとよいです。

発汗には、ウォーキングよりもジョギングが効果的です。走り出して数分後に発汗が開始しますので、10分以上続けてください。これは、循環器系や膝に故障のない人に適しています。

自転車や水泳。少なくとも10分以上続ける。これは、膝の痛い人に適しています。

足湯：怪我や体力不足で、運動が難しい人におすすめします。バケツに熱めの湯を入れて、ふくらはぎあたりまでつける。普通の入浴より長い時間続けられるため、しっかり汗をかけます。足湯の温度は、若い人で43℃、高齢者、循環障害者で38～40℃にします。

表1. 足湯の温度

年齢	湯の温度	
若い人	43度	発汗しやすい、心拍数も上がる
高齢者・循環障害者	38-40℃	安全

摂氏 38℃から 43℃の温度の湯に数分から 20 分つかります。高齢者や循環器系の病気を
持つ人は注意が必要です。心臓がドキドキしたり、気持ちが変わるくなったら中止してくだ
さい。

■ 汗腺トレーニングの効果

効果がでるまでに数週間かかります。5月または6月から始めます。運動と足湯を組み合
わせると効果的です。

■ トレーニングの注意

水分の補給に注意します。ジョギングなど運動中の飲料が難しい場合は、体を動かす前
に飲む。「良い汗」をかいても一定量の塩分が失われるため、0.1~0.2%の塩水を補給しま
す。スポーツ飲料は塩分だけでなく、糖分を含むため、運動時のエネルギー補給に役立ち
ます。

編集後記

就任あいさつ

事務局次長 頼 秀文

私はこれまで広島労働安全衛生センターの会計監査として設立当初から関わってきまし
たが、この度6月に開催されました第25回定期総会において、事務局次長に就任するこ
ととなりました。

月2回開催されています事務局会議では、アスベストに関する個別案件を中心に検討が
行われていますが、相談者のほとんどが65歳から70歳といった年代の方で占めていま
す。アスベストによる健康被害は潜伏期間が20年~30年と長いので、病気の発症は定年
退職後になるケースが多いことから、潜在的な被害者の掘り起しをどう進めていくのかと
いった課題もあると感じています。

働くものの立場に立つ県内唯一の労働安全衛生センターとして、四半世紀の歴史と経験
をふまえ、これからも被災労働者の相談活動を行いながら、労災職業病を根絶していくた
めに活動していきたいと思えます。私も退職後のOBとして事務局に入ることとなりました
ので、今後いっそうのご理解とご協力をよろしく申し上げます。